

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	広域幹線道路等整備促進事業			事業番号	34-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部国県事業推進担当	児島 茂	国県事業対策課	石田 隆祥	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	16	便利で機能的なまちをつくる	
		施策	34	都市の機能を高める基盤施設の整備	
予算事業名	広域幹線道路推進事務費 広域幹線道路地域支援事務費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成30年度以前	～	終了年度	—
関連法令等	国土開発幹線自動車道建設法、道路法、高速自動車国道法、道路整備緊急措置法、道路整備特別措置法、都市計画法				
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画				計画期間	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	新東名高速道路、国道246号バイパス、都市計画道路西富岡石倉線は、本市の都市機能の向上に重要な路線であることから、引き続き国、県、中日本高速道路(株)と連携し整備の促進を図ることが重要です。				
目的 (何をどうしたいのか)	新東名高速道路、国道246号バイパス、都市計画道路西富岡石倉線の開通に向けて、関係機関と連携し整備の促進を図ります。				
主な対象 (誰・何を対象に)	交通利便性の向上や災害時のネットワークの構築など広域幹線道路の整備効果を受けることとなる市民及び道路利用者です。				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> 既に事業化されている区間の整備促進を図るとともに、未事業化が残る国道246号バイパスについては、県や国道246号バイパス建設促進協議会、各種道路期成同盟会等による要望活動などにより早期の全線事業化を促進します。 地域連絡会等において道路事業者を交えた情報交換会や先進地視察等を実施し、各種課題の解消に努めます。 				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	新東名高速道路の進捗状況	用地買収・埋蔵文化財調査・工事	用地買収・埋蔵文化財調査・工事(一部供用開始予定)	用地買収・埋蔵文化財調査・工事	
	国道246号バイパスの進捗状況	用地買収・埋蔵文化財調査・工事	用地買収・埋蔵文化財調査・工事	用地買収・埋蔵文化財調査・工事	
都市計画道路西富岡石倉線の進捗状況	用地買収・埋蔵文化財調査・工事	用地買収・埋蔵文化財調査・工事(一部供用開始予定)	用地買収・埋蔵文化財調査・工事		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
	広域幹線道路等の整備促進	整備促進(平成29年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		整備促進	整備促進	整備促進	整備促進



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)					
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外				
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者		
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先		
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容		
実施結果	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	新東名高速道路の進捗状況	用地買収・埋蔵文化財調査・工事(一部供用開始)			
	国道246号バイパスの進捗状況	用地買収・埋蔵文化財調査・工事			
	都市計画道路西富岡石倉線の進捗状況	用地買収・埋蔵文化財調査・工事			
実施した取組の内容	国道246号バイパスの整備促進、早期開通及び未事業化区間の全線事業化に向け、秦野市、厚木市、中井町と連携し、引き続き国等への要望活動を実施しました。また、地元組織との連絡を密にし、地域連絡会や工事説明会などで情報提供に努めるとともに、関係機関との連携を図り、地域支援を行いました。				
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	広域幹線道路等の整備促進	整備促進(平成29年度)	整備促進		

コスト	年度		平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績				
	事業費合計 (a)		0		千円		0		千円		0		千円		
	内訳	国県支出金 ①		0		千円		0		千円		0		千円	
		地方債 ②		0		千円		0		千円		0		千円	
		その他特財 ③		0		千円		0		千円		0		千円	
		一般財源 (a)-①-②-③		0		千円		0		千円		0		千円	
	国県支出金の内容														
	その他特財の内容	受益者負担		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				前回の改定時期							
		その他													
	人件費	正規職員		2.4	人	20,424	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		その他の職員		0.6	人	1,506	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		人件費合計 (b)		3	人	21,930	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	トータルコスト (a)+(b)				21,930	千円			0	千円			0	千円	
	単位当たりコスト	対象数	定義		市民	単位			単位			単位			
			対象数		102,416	人									
総事業費 / 対象数		214	円			円			円			円			

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	新東名高速道路 厚木南インターチェンジから伊勢原ジャンクション区間が開通しました。また、国道246号バイパスについても近隣市町と連携し、全線事業化に向け国等へ要望活動を行いました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市事業内容等	新東名高速道路、国道246号バイパスは複数の都市を通過して整備されており、他市と同水準で実施されています。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	平成30年度において、厚木南インターチェンジから伊勢原ジャンクション区間が開通されるなど、広域幹線道路のネットワークが形成されることによる交通利便性や都市機能の向上が図られています。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	市内では着々と広域幹線道路の整備が進んでおり、工事に関する地元との具体的な調整事項が増加しています。地域連絡会や工事説明会などの地域支援を行い、円滑な整備促進を図りました。



取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	市域における広域幹線道路の整備進捗に伴い、工事等に関する調整事項の増加が今まで以上に見込まれることから、より効率的・効果的に調整を図り、関係機関との連携や地域支援を強める必要があります。
令和元年度の取組方針		新東名「伊勢原大山IC」が今年度の開通を予定していることから関連して整備が進められている厚木秦野道路(国道246号バイパス)や都市計画道路の早期開通に向け、整備促進を図るため、地域支援や国等への要望活動を実施します。		
所管部長による総評		広域幹線道路が整備されることにより、市域における経済活動や観光人口などにおける効果が期待され、さらには、防災面での重要性から早期完成に向けた整備促進を図る必要があると考えています。		